

秋学期が始まって約一か月が経ちました。受講している授業は、内容も規模も全く異なりますが、だんだんと慣れてきました。

授業を受けていて感じるのは、学生の質問が多いということです。授業の最中に手をあげて質問する学生の姿を、どの授業でもほぼ毎日見ます。日本でどうだったかと考えると、少なくとも私は聞きたいことがあっても授業中に聞くことがあまりできず、授業後に残って質問していた記憶があります。なぜ授業中にできないかという、やはり恥ずかしかったり、目立ちたくなかったりするからかと思えます。また、授業を中断したくないという思いからもあるかと思えます。しかし、留学先の大学では、何人もの学生が大勢のクラスで質問しています。初回授業のガイダンスでは、授業中の質問に対する注意があり、そこでは、学生みんなが質問しやすい環境を作るために、他の学生に対して尊敬することを心掛けるようにとありました。しかし、質問の内容を聞いていると、明らかに自分で対処できるようなものがあるのも事実です。そのせいで授業があまり進まなかった週もあったため、質問が多いことがいつでも良いとは限らないのだと思いました。



平日は、学校に追われ、なかなか遊びにはでかけられませんが、週末には友だちやルームメイトと出掛けたりして過ごしています。九月上旬から、アメリカンフットボールのシーズンが始まり、それから毎週末試合が行われています。大学対抗の試合ですが、とても規模が大きいです。フットボールがある日は、スタジアムも大学周辺も、人でいっぱいになります。

アパートの近くには、アジアの食料を扱う店舗もいくつかあり、時々利用しています。必要な調味料はほぼ全て手に入るため、アメリカでも日本食を自炊することができます。アメリカの料理も楽しんでいます。日本食が食べたくなった時にはアパートで作り、ルームメイトと食べたりします。ルームメイトも自分の国の料理を振る舞ってくれるため、いろんな新しいものに挑戦することができます。

授業だけでなく積極的に様々な活動に参加して、いろんな人で出会い友だちになり、この留学をより豊かなものにしたいと思います。